

豪雨を振り返って

9月8日の大雨の際は、保護者の皆様にご心配をおかけいたしました。
その後、子どもたちも無事に朝を迎え、保護者の皆様のもとへ送り出すことができ、まずはホッといたしました。

7年生の中には、無事に帰宅できた生徒もいれば、学校に宿泊することになった生徒もいました。普段とは違う状況に、不安を感じた生徒もいたことと思います。

そんな中でも、「せっかくなら楽しもう」と明るく過ごそうとする姿が見られたことを、とても頼もしく感じました。また、寝袋を運ぶ作業を進んで手伝ってくれるなど、立派な戦力として活躍してくれた生徒もいました。

その後、あらためて登校した際には、生徒たちからさまざまな気づきの声が聞かれました。

「日頃からカバンの中に非常食を用意しておくとういかもしれない」
「歯磨きができないのがつらかった」
「たくさんの方が同じ場所に避難していると、お互いの声の大きさが気になった」
どれも、実際に経験したからこそ出てきた言葉です。

「避難に必要なもの」と聞けば、食料や水、寝袋などを思い浮かべます。しかし、実際にその状況になって初めて気づくこともたくさんあります。今回の経験を一つの学びとして、これからの備えに生かしていければと思います。

文化祭に向けて

少しずつ日常が戻る中、現在は文化祭に向けた準備を進めています。

文化祭は、日頃の学習の成果を発表するだけでなく、自分たちが学んできたことを「どうすれば相手に伝えられるか」と考える機会でもあります。

準備の過程も含め、一人ひとりが力を発揮できる時間になればと思っています。

最近のユコマ

そんな慌ただしい毎日の中、7年生の癒やしになっているのが、学校うさぎの「うーたん」です。

休み時間になると、「これ、食べるかな？」とうーたんが食べられそうな草を探してきてあげる生徒たちの姿があります。

うーたんが美味しそうに草を食べ始めると、それを囲んで嬉しそうに眺める生徒たち。

文化祭の準備などで忙しい日々が続いていますが、そんな毎日の中にも、こうした穏やかな時間があります。

慌ただしいときだからこそ、こういう何気ない時間も大切にしていきたいなと思います。



癒しのうーたん



文化祭のブース準備中です。

